





# 母と子が自慢のノドくらべ

## 未亡人連協で明るい運動

石城未亡人連絡協議会ではとかく暗くなり勝ちな母子家庭を明るくしようと積極的な運動を行つてゐるがその一つとして三月十五日平一小講堂で母子音楽コンクールを開くことになった。各方部の未亡人会から小中校児童生徒一人ずつと母親が参加、なごやかに母と子が自慢のノドくらべをしようといふもの。

## 放浪の母子救わる

### 平福祉所員が愛の手

心中一步手前の女子が福祉事務所員の愛の手で救われます。希望を求めていた。

勿来市下山田生れの佐藤タネさん(三は二十才の時結婚)北海道磯上郡茂平村に住み長男と長女一人の子を生み幸福に暮していたが昨年の月、夫は仕事の失敗などから神経衰弱気味となり家出をしてしまった。

タネさんは日雇などをしながらの子供を養つてきが昨年の十一月一緒に働いていた夫と知り合い青森県の引前市に移った

放逐の手で無惨に焼けてしまつた内郷市立宮小学校(校長佐藤義氏の再建工事は総工費二千七百円を投じて進むられたがこの度を贈つたあと佐藤校長、川田町長が祝式を行つた。

## ボクらの学校できた

### 宮小で盛大な落成式

内郷市立宮小学校(校長佐藤義氏の再建工事は総工費二千七百円を投じて進むられたがこの度を贈つたあと佐藤校長、川田町長が祝式を行つた。

当社は市長の祝辞、工事請

款を贈つたあと佐藤校長、川田町長が祝式を行つた。

内郷市立宮小学校(校長佐藤義氏の再建工事は総工費二千七百円を投じて進むられたがこの度を贈つたあと佐藤校長、川田町長が祝式を行つた。

## 総額八億七千万減

### 一月中の貯金白書

日銀福島支店では十七日一月中の貯蓄実績を発表した。これによると都便貯金の好調にもかかわらず総額で八億七千万円の減少となっている。なお減少となっている。

県貯蓄推進委員会は二月一日か

## 水戸観梅の旅

### 常磐觀光社で募集

に回すのが木當だがカネさんが実験したことを探つてゐるのをみた同所の神谷正典氏(ほじだい)

同情力がさうがシンシカをつけているので市内の病院に入院させ一人の子供は退院の日まで平気で相談所にあづけられた。神谷氏は入院後も身の回り品を贈つてなごれと面倒みており(高二十八(1963)年月増加額一、101相談所にあづけられた。

(高二十八(1963)年月増加額一、101)

(高二十八(1963)年月増加額三、33)

